

私たちの町、今とこれから

1年4組

●今の私たちの町

平成23年3月11日午後2時46分。歴史に、残る巨大津波が、沿岸の町を襲った。東日本大震災。私たちは、地震の来る少し前、6時間目が始まったばかりで、全校で卒業式で歌う全校合唱の練習をしていた。地震が来たとき、体育館の天井から物がおちてきたりした。私たちは、副校長先生の指示のもと、町が、揺れている中を逃げた。私が、いた気仙中学校は、海に、近く津波がきたら、危ない場所にあった。気仙中学校の第一避難所に、最初行ったが、そこも、のみこまれる危険があったため、私たちは、第一避難所よりもさらに、高いところに、逃げた。そこで、私たちは、津波が、来たのを見た。7万本あった松林が、見慣れている町が、思い出いっぱい为学校が、一瞬にしてのまれていくのを見た。その光景を見ていたとき、私は泣き叫ぶことしかできなかった。

そこから、さらに山の中に入り、避難した。長部地区(おさべちく)にある、二日市公民館で、一晚過ごした。地震や津波に、怯えながら、過ごした。次の日、長部小学校に避難先が変わった。そこで、家族と再開した。本当に、うれしかった。しばらく、そこに避難した。水も電気もない生活…。本当に不便だった。そのあと、内陸のいとこの家に、2週間くらいお世話になった。

今は、大船渡市の高台の方に、住んでいる。4月の上旬に、こっちの方へ来た。水も電気もガスもきていて、まるで何も災害が起きていなかったようだった。水、電気、ガスのある生活にありがたいと思った。高田や海沿いに、行けばがれきの山だし、外へ出れば、鼻をさすようなすごい臭いだ。復興、復旧に、どれくらいかかるかまだ、分からない。

●これからの自分

今、多くの方々から、支援をうけている。いただいている支援に、感謝しながら、生活していきたい。自分が今、何ができるか考えながら、生活していきたい。何事にも、集中し、まじめに取り組む。

- ・物を大事にする。
- ・ガス、水道、電気を無駄使いしないように注意して使う。
- ・地域行事などに、今まで以上に積極的に取り組んでいきたい。(準備から)
- ・防災意識をもっと高めていく。
- ・いろいろな人に元気を分けてあげられるような人になりたい。

この震災で、多くのことを学びました。普段、何気なく使っている、ガス、水道、電気はなくては、ならないものなんだなあと思いました。これから、無駄使いに、気をつけていきたいです。また、これから、苦しいこと、辛いことがあると思いますが、高田松原に残った1本の松の木のように、力強く歩いていきたいです。



・撮影日 平成23年4月17日

・撮影場所 気仙中学校

・コメント 思い出多き母校
今までありがとう



・撮影日 平成23年4月17日

・撮影場所 家の近所

・コメント 喧嘩七夕の復活を
願って、4つの地区が
一致団結



・撮影日 平成23年

5月24日

・撮影場所 家(跡)

・コメント がんばって、
生きようとしている。
一緒に前に進もうといっ
てくれているような気が
する。